



JASDAQ

平成 28 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社シーエスロジネット
代 表 者 名 代表取締役社長 高 木 敏 明
(J A S D A Q ・ コード番号 2 7 1 0)
問 合 せ 先 取締役社長室長 乙 守 俊 秀
T E L (052) 354-7797

平成 28 年 3 月期決算短信の開示遅延理由及び今後の決算開示に関するお知らせ

当社は、「平成 28 年 3 月期決算短信」の開示が本日となった理由及び今後の決算開示につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期決算短信の開示遅延の理由について

平成 28 年 5 月 20 日付けにて公表した「不適切な会計処理が行われたことの判明及び社内調査委員会の設置並びに平成 28 年 3 月期業績予想修正・同決算発表の延期に関するお知らせ」のとおり、当社の第 34 期(平成 28 年 3 月期)年度末の決算処理を行う過程において、過年度における売上原価及び買掛金の計上並びに投資有価証券の評価のそれぞれについて一部誤りがあることが判明したため、社内調査委員会を設置し、当社の会計監査人と連携しながら、本件会計処理の事実関係、原因の究明、他に同様の事象が存在しないかどうか及び過年度の決算への影響について調査検討を行うなかで、会計監査人から社内調査委員会の調査が完了し、上記の不適切な会計処理に係る事実関係及び財務諸表への影響の全容が判明するまでは、第 34 期(平成 28 年 3 月期)の期首残高を確定することができず、同期に係る監査を継続する必要がある旨説明を受けておりました。

このような状況のもと、本日付けにて公表した「社内調査委員会報告書受領に関するお知らせ」のとおり、事実関係及び財務諸表への影響の全容が判明いたしました。

以上により、平成 28 年 3 月期の決算短信の開示が本日となりました。

2. 今後の予定について

平成 27 年 3 月期決算短信に続いて、今回も決算短信の開示が遅延したことを真摯に受け止め、開示体制の整備・拡充を図るとともに、適時開示制度の重要性に鑑み、専門家の助言も受け、四半期決算、本決算ともに期末後 45 日以内を目処とした決算開示の早期化に努めてまいります。具体的な改善策は、決まり次第、お知らせいたします。

株主の皆様、お取引先様、投資家及び市場関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

以上